



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月10日

上場会社名 大太平洋金属株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5541 URL http://www.pacific-metals.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 朗
 問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 藤山 環 (TEL) 03-3201-6681
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	11,916	16.3	1,155	—	1,671	—	1,755	—
30年3月期第1四半期	10,242	13.7	△3,113	—	△2,261	—	△2,406	—

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 559百万円(—%) 30年3月期第1四半期 △2,488百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	89.98	—
30年3月期第1四半期	△123.33	—

※当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	71,429	63,175	88.2
30年3月期	70,351	62,616	88.7

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 62,970百万円 30年3月期 62,405百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,834	39.9	2,325	—	3,428	—	3,416	—	175.12
通期	52,245	26.8	2,020	—	4,342	—	4,237	—	217.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期1Q	19,577,071株	30年3月期	19,577,071株
31年3月期1Q	70,081株	30年3月期	69,878株
31年3月期1Q	19,507,067株	30年3月期1Q	19,510,743株

※当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済政策を背景に、企業収益及び雇用環境が改善し、また、設備投資も増加したため、緩やかな回復基調が継続しました。

海外経済については、中国の景気は持ち直しの動きが継続しており、米国は雇用・所得環境等が引き続き良好であり、また、欧州においては個人消費の回復が景気を下支えしており、全体的に堅調な推移となりました。その中で、米国の保護主義的な通商政策の行方及び英国の欧州連合離脱問題、また、中東における地政学的リスクの影響等、先行きには不透明感を残しました。

このような状況のもと、当社グループの売上高並びに損益の大半を占めるニッケル事業の主需要先であるステンレス鋼業界は、生産活動の一部に調整が見られますが概ね良好な稼働率であり、受注状況は底堅く、安定基調で推移しました。

このため、フェロニッケル需要は、一定の需給環境の中、堅調な推移となりました。

フェロニッケル製品の主原料であるニッケル鉱石の調達先は、主要調達先のフィリピンにおける鉱業環境規制厳格化の方針は継続しており、一部の鉱山操業に影響は見られますが、当第1四半期連結累計期間における当社の鉱石調達量には影響ありませんでした。

ニッケル鉱石の価格に関しては、インドネシア未加工鉱石禁輸政策が一部緩和された影響で、緩和前に比較すれば高い水準ではあるものの、比較的落ち着いた動きとなりました。

ロンドン金属取引所(LME)におけるニッケル価格は、需給バランスの改善及び米国における経済政策の影響等もあって、一部の商品相場と共に上昇傾向となりましたが、一方で、依然不安定な原油等商品市況及び徐々に広がりを見せる世界的な貿易制限の影響、また、インドネシア未加工鉱石禁輸政策の緩和措置に伴う鉱石供給懸念の減速等もあり、底上げ感のある中で値動きの激しい推移となりました。

その中で、当社のフェロニッケル販売数量は、当社取引先の需要は堅調なもの、前連結会計年度に業績低迷の影響に伴って一部生産・販売数量の調整を実施しており、当連結会計年度においても未だ不透明感の見られる事業環境であることから慎重な生産・販売体制を継続しているため、前年同四半期と比べ国内外向け共に減少し、全体で前年度比17.1%の販売減となりました。

フェロニッケル製品の販売価格については、当社適用平均為替レートは前年同期比2.5%円高となりましたが、価格形成の指標となる当社適用LMEニッケル価格は前年同期比44.2%上昇したため、価格高となりました。

このように、依然不透明感のある経営環境のもと、当社は、収益基盤強化をより一層強化させるため、省エネ・低コスト生産等によるトータルコスト削減を推し進め、また、製品の優位性を活かした販売活動の展開及び生産・販売数量の最適化に努め、業績の底上げを図っております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は、連結売上高11,916百万円、前年同期比では、上昇傾向となったLMEニッケル価格の影響もあり16.3%の増収となりました。営業利益は、たな卸資産の収益性改善に伴う評価額の減少等もあって1,155百万円（前年同四半期営業損失3,113百万円）、経常利益は、持分法適用会社6社の持分法による投資利益342百万円の計上等を含めて1,671百万円（前年同四半期経常損失2,261百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,755百万円（前年同四半期親会社株主に帰属する四半期純損失2,406百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①ニッケル事業

ニッケル事業についての経営成績は、「(1) 経営成績に関する説明」に記載のとおりであります。

その結果、当部門の売上高は11,651百万円、前年同四半期比16.3%の増収、営業利益は1,193百万円（前年同四半期営業損失3,136百万円）となりました。

②発電事業

発電事業につきましては、一定の稼働を維持しており利益計上となりました。

その結果、当部門の売上高は134百万円、前年同四半期比34.8%の増収、営業利益は16百万円、前年同四半期比では48.8%の増益となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間末において、東北電力株式会社との契約は満了しております。

③その他

その他の事業部門につきましては、不動産事業は販売不振、廃棄物リサイクル事業は受注等が低迷及びガス事業は安定操業であったものの定期設備修繕費用増加等もあり、当部門は損失計上となりました。

その結果、当部門の売上高は171百万円、前年同四半期比3.1%の増収、営業損失は61百万円(前年同四半期営業損失2百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部

資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,078百万円増加し、71,429百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間の流動資産は、当社フェロニッケル製品の在庫積み増しに伴うたな卸資産の増加等もあり、その他の要因も含め前連結会計年度末に比べ2,190百万円の増加となりました。

固定資産は、持分法適用関連会社に係る為替換算調整勘定の減少及び一部保有株式の市場価格下落に伴う投資有価証券の減少等により、前連結会計年度末に比べ1,111百万円の減少となりました。

②負債の部

負債合計は、前連結会計年度末に比べ518百万円増加し、8,254百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間の流動負債は、決済時期の影響に伴う支払手形及び買掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ724百万円の増加となりました。

固定負債は、一部保有株式の市場価格下落に伴った繰延税金負債の減少等により、前連結会計年度末に比べ205百万円の減少となりました。

③純資産の部

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ559百万円増加し、63,175百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間においては、株主資本は利益計上等により1,754百万円の増加及びその他の包括利益累計額は為替換算調整勘定の減少等により1,189百万円の減少並びに非支配株主持分は5百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想について、当社フェロニッケル製品の販売価格形成の指標となる当社適用LMEニッケル価格は、値動きに不透明感を残すものの、前回発表予想参考値を上回る水準のため売上高の増加が見込まれ、原価においては、主原料であるニッケル鉱石の価格は比較的落ち着いた推移であり原価上昇幅は一定程度と予想されます。

そのため、平成30年8月3日付「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」において、連結業績予想を以下のとおり修正し、併せて市場条件につきましても見直しております。

なお、この業績の修正に伴う配当金予想についても以下のとおり修正し、1株当たり中間配当を30円、期末配当を30円、通期で60円に修正いたしました。

《参考》

【業績予想の修正】

(1) 平成31年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成30年5月11日発表)	百万円 24,035	百万円 174	百万円 1,301	百万円 1,132	円 銭 58.03
今回修正予想(B)	26,834	2,325	3,428	3,416	175.12
増減額(B-A)	2,799	2,151	2,127	2,284	
増減率(%)	11.6	—	163.5	201.8	
(参考)前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	19,177	△3,467	△1,577	△1,809	△92.75

(2) 平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成30年5月11日発表)	百万円 47,827	百万円 △1,489	百万円 790	百万円 551	円 銭 28.25
今回修正予想(B)	52,245	2,020	4,342	4,237	217.20
増減額(B-A)	4,418	3,509	3,552	3,686	
増減率(%)	9.2	—	449.6	669.0	
(参考)前期実績 (平成30年3月期)	41,210	△3,239	△203	△810	△41.56

【配当予想の修正】

修正の内容(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (平成30年5月11日発表)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
今回修正予想	—	30.00	—	30.00	60.00
当期実績	—				
(参考)前期実績 (平成30年3月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

【前提条件の修正】

	販売数量(T/Y)			生産数量(T/Y)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (平成30年5月11日発表)	15,736	16,264	32,000	16,739	16,374	33,113
今回発表予想	16,130	15,870	32,000	16,766	16,233	32,999
(参考)前期実績 (平成30年3月期)	16,118	15,482	31,600	15,361	14,541	29,902

	適用LMEニッケル価格(\$/lb)			適用為替(¥/\$)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (平成30年5月11日発表)	5.85	5.50	5.67	109.49	109.67	109.58
今回発表予想	6.46	6.10	6.28	109.14	109.66	109.40
(参考)前期実績 (平成30年3月期)	4.43	5.30	4.85	111.17	111.13	111.15

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,882	24,051
受取手形及び売掛金	7,422	7,711
有価証券	500	900
商品及び製品	3,598	5,465
仕掛品	300	320
原材料及び貯蔵品	4,485	3,963
その他	2,204	2,172
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	42,392	44,582
固定資産		
有形固定資産	9,292	9,219
無形固定資産	2	2
投資その他の資産		
投資有価証券	18,578	17,538
その他	90	91
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	18,663	17,624
固定資産合計	27,958	26,846
資産合計	70,351	71,429

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,233	1,961
未払費用	1,436	1,550
未払法人税等	73	48
賞与引当金	274	81
その他	356	456
流動負債合計	3,373	4,098
固定負債		
退職給付に係る負債	846	837
繰延税金負債	896	733
再評価に係る繰延税金負債	751	751
訴訟損失引当金	16	16
契約損失引当金	1,841	1,808
その他	8	7
固定負債合計	4,361	4,155
負債合計	7,735	8,254
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,922	13,922
資本剰余金	3,481	3,481
利益剰余金	43,618	45,373
自己株式	△439	△440
株主資本合計	60,582	62,336
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,932	1,468
土地再評価差額金	865	865
為替換算調整勘定	△663	△1,410
退職給付に係る調整累計額	△310	△290
その他の包括利益累計額合計	1,822	633
非支配株主持分	211	205
純資産合計	62,616	63,175
負債純資産合計	70,351	71,429

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	10,242	11,916
売上原価	12,640	10,057
売上総利益又は売上総損失(△)	△2,398	1,859
販売費及び一般管理費		
販売費	386	390
一般管理費	328	313
販売費及び一般管理費合計	715	703
営業利益又は営業損失(△)	△3,113	1,155
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	155	84
不動産賃貸料	21	23
持分法による投資利益	666	342
その他	48	102
営業外収益合計	894	554
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	8	—
外国源泉税	11	7
その他	22	30
営業外費用合計	42	38
経常利益又は経常損失(△)	△2,261	1,671
特別利益		
投資有価証券売却益	—	108
特別利益合計	—	108
特別損失		
減損損失	14	4
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	17	—
特別損失合計	32	4
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,294	1,775
法人税、住民税及び事業税	40	32
法人税等調整額	61	△6
法人税等合計	102	26
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,397	1,749
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	9	△5
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,406	1,755

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,397	1,749
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	292	△445
退職給付に係る調整額	10	12
持分法適用会社に対する持分相当額	△393	△756
その他の包括利益合計	△91	△1,189
四半期包括利益	△2,488	559
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,497	565
非支配株主に係る四半期包括利益	9	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。